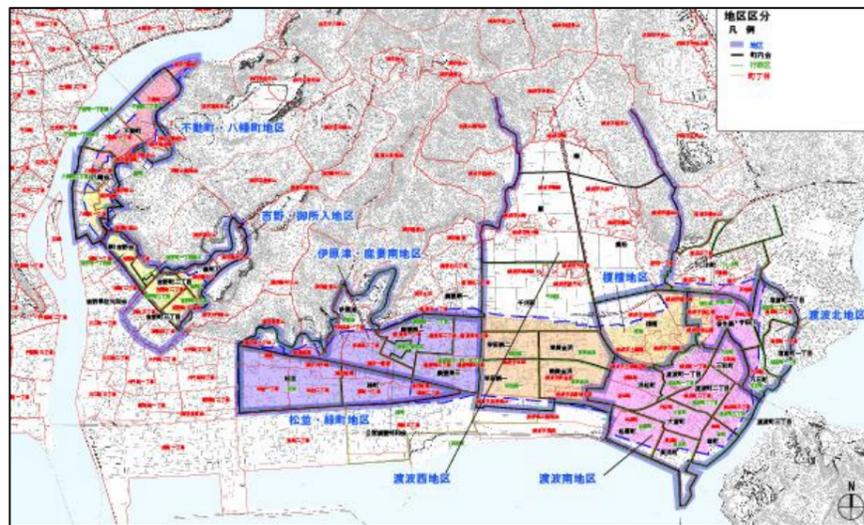


1. 背景と目的

- 東日本大震災の発生から2年8ヶ月が経過した現在、本市の復興まちづくりは、土地区画整理事業や防災集団移転促進事業等の実施により進められています。
- しかしながら、本市にはこれらの事業が行われない地区においても、津波被害の大きい市街地が存在しており、これらの地区において、復興まちづくりの遅れとそれに伴う住民の流出、地域の活力低下、コミュニティの崩壊等が問題となっています。
- このような地区において、どうすれば住民のみなさんが安全に安心して暮らし続けられることができるのか、また、地区外にいらっしゃる方々がどうすれば戻ることができるのかについて、住民の皆さんと一っしょに考えながら、復興まちづくりを進めていくこととしました。

▼検討対象エリア（※必要に応じて隣接地区も含めるものとします）

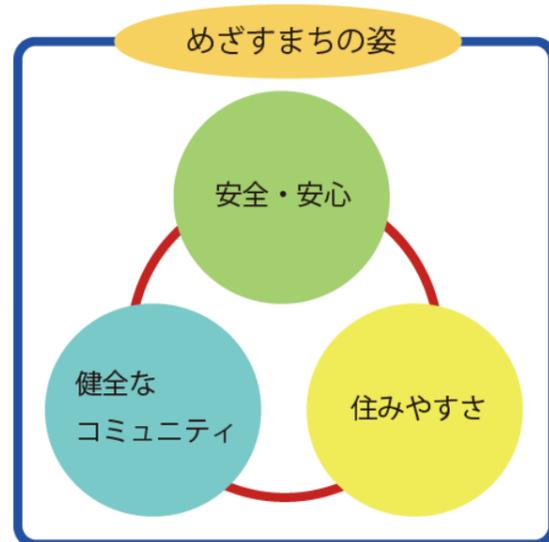


2. 基本的な考え方

○東部地区の復興まちづくりは、津波災害等からの「安全・安心」、地域力の主体である「健全なコミュニティ」、防災面以外の様々な住環境を良くする「住みやすさ」が基本となると考えています。

例えば・・・

- ◆安全・安心
 - ・自助、共助による確実な避難
 - ・避難を可能とする施設の充足
- ◆健全なコミュニティ
 - ・離れて暮らしている人を呼び戻す
 - ・住民がつながり続けるための活動
- ◆住みやすさ
 - ・生活を支える施設の充実
 - ・住環境の改善



3. 当面の目標

○東部地区復興まちづくりの当面の目標（概ね今年度内）は、以下のとおりです。

被災前の居住者調査

- ・復興まちづくりを進めるにあたり、基礎的な情報となる被災前の居住者の現在の状況を調査します。

住民意見の聴き取り

- ・アンケート調査や意見交換会を通して、復興まちづくりに対する住民の皆さんのご意見を聴きます。

住民意見のとりまとめ

- ・住民の皆さんの様々なご意見をとりまとめ、復興まちづくりの次のステップ※に繋げる形にします。

※市が定める防災関連計画等への反映、具体の事業化など

4. スケジュール

- 意見交換会及びアンケート調査のスケジュールは、以下のとおりです。
- 11月中旬以降に、コンサルタントによる現地調査を行います。

▼スケジュール（案）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降
意見交換会		三役説明(10/21渡波、10/25湊) 町内会長・区長全体説明・意見交換(11/7渡波、11/15湊) ブロック別意見交換会①(11月中旬～12月中旬)			ブロック別意見交換会②.....		
アンケート調査	配布リスト・調査票作成、発送準備	発送、回収(12/2～16)	集計、分析	意見の反映			